

---

### 第三回 ～未来このはな～二代目ラウンドテーブルを開催しました

---

第三回 ～未来このはな～二代目ラウンドテーブル（以下「ラウンドテーブル」と呼ぶ）が平成29年6月8日（木曜日）午後7時から此花区民ホール第1会議室にて開催されました。



このラウンドテーブルは、生活の中で「してみたいこと」をテーマに自由にアイデアや意見を出し合う場です。年齢や性別、肩書は一切関係なしに、此花をよりよくするために何か話そう。何か語ろう。という構想で行っています。

毎月第2木曜日に此花区民ホールにて開催され、今回は14名の方にお集まりいただきました。

ラウンドテーブル終了後には毎回、参加者同士の情報交換や連絡先交換が行われます。ラウンドテーブルは月1回の開催ですが、知り合ったメンバー同士が別途集まり、交流しているケースもあります。毎回参加できなくても結構ですので、ご興味がある方はぜひ一度ご参加いただきたいと思います。

次回のラウンドテーブルは7月13日（木曜日）午後7時から此花区民ホール第1会議室にて開催されますので、皆さんふるってご参加ください！

今回のラウンドテーブルについて、参加者から進行役の立候補者を募ったところ、特に希望者がおられなかったため、此花区在勤の A さんに進行役をお願いしました。

今回のラウンドテーブルの内容（抜粋）は、以下の通りです。

○参加者の自己紹介が終わり、まずは参加者の情報周知から始まりました。

・此花区民ホールからのお知らせで、8月26日に町歩きのイベントを行います。町歩きの活動を行っている区長と歩こう会さんと区民ホールがコラボレーションして、町歩きの後、正蓮寺川にて川<sup>かわ</sup>施<sup>せ</sup>餓<sup>が</sup>鬼<sup>き</sup>（川辺で死者の霊を弔う供養）を行う予定です。お弁当までついて参加費無料とのことですので、みなさん奮って参加ください。

・住吉神社からのお知らせで、7月の17日の祭りに向けて小学校3年生以上の方を対象にだんじり太鼓の練習を行っています。毎日17時から練習していて、地域や性別不問でだんじり太鼓の練習をしたい人を募集しています！ご興味のある方は17時に住吉神社にお越しください。

・此花区役所からのお知らせで、11月23日に正蓮寺川公園にてレクリエーションによる地域交流事業を行います。此花区の良さや伝統文化を区内外に発信することを目指しています。新設された正蓮寺川公園に親しみを持ってもらうために、様々なイベントを企画します。6月29日に此花区役所3階の講堂Aにて実行委員会を開催します。このイベントでやってみたい企画をお持ちの方はぜひご参加ください。

・同じく区役所から、このはな夢コンテストを実施します。西九条駅から正蓮寺川公園に至るまちの景観をテーマとしたイメージを募集しています。将来こうなったらいいな！という夢を絵や立体造形物、音楽、詩など得意な分野で自由にあなたのイメージを表現してください。応募いただいた作品は此花区ホームページでご紹介し、広く皆さんにご覧いただけるようにします。この件についてのお問い合わせは此花区役所 企画総務課（事業戦略）までご連絡ください。

○情報共有後、地域活性についての話になりました。一部会話を抜粋しています。

A「こないだね、うちの住吉神社で結婚式をされた方がいらっしやって、この子がまた面白くて、旦那さんが埼玉出身で奥さんが滋賀県出身で、此花区の四貫島かな、四貫島のところで一緒に住んではって、結婚式をすんのに住吉神社でやりたいんですけどーみたい

なネタで来はって、四貫島の朝日にある椿庵さんという、着物屋さん、まあ貸衣装もや  
ってはるんですけど、そこで新郎新婦さんが和服に着替えはって、ご両家で花嫁行列み  
たいな感じで近所をちょっと練り歩いて、ちょっとした店行って写真撮って、またどっ  
か寄って写真撮って、ほんでそのまま神社に戻ってくる雰囲気やったんですけど、なん  
かそんな時に普通に歩いとってあれやからいうて、周り歩く子用に法被貸して一いうこ  
とで、ウチの神社の踊り用の派手な法被を貸してあげたんですね。んで、しかも神社で  
二人が結婚式挙げた後、出てきたらお祝いの太鼓を敲くという、僕らだんじりばやしを  
やっているの、お祝いの太鼓をたたくというのをやったんです。ほんだら、なんかね、  
地域が面白かったんで、それを見ていた隣のパーマ屋の兄ちゃんが、『こんなやってる  
んやったら、ウチも入れてくれたら、頭のセットとかもしたのに、言うてくれたらよか  
ったのに。』って言うてはって、なんかあんなんってうまいこと使ったらこれから違うこ  
とできるんちゃうかなと思ったんですけどね。」

B「けっこう面白いね。」

A「ね！実際一年半、二年くらい前にここ（ラウンドテーブル）によく来られていたHさん  
という方が住吉神社で結婚式をされて、この二人はそれを見てたらしいんです。ほんで  
『私らもあれをやりたい！』という話でやりはったんですけどね、まあ、それがね、二  
回目ともなるとちょっと雰囲気がね、ええ感じになったんで。はい。」

C「住吉神社さんって、結婚式ウチでやれまっせ！っていうなんかそういうものが・・・」

A「ないです。」

C「あー、飛び込みなんですね。」

A「Hさんがいきなり『住吉神社好きやから、ここで結婚式できるかな？』みたいなことを  
聞いてきたんで、ホテルで結婚式挙げるときに神主さん行ってはるんで、たぶん神社で  
もできるんちゃいますかーみたいな話をしてたんですよ、ほんだら、神主さんに聞いた  
ら二十年くらい前にやったことあるよーって話になったんで、」

C「二十年・・・(笑)」

A「じゃあ、挙げさしてくださいってことで、一回目はそれやったんですよ。」

D「商店街パレードもあったかな。」

A「はい、あれはなかなか、僕も町会長もやってるんで、町会長会議でこんなあるんで何時から何時まで花嫁さん通るかもしれないんで、花嫁さん歩いてたら声かけてやってくださいみたいなことを言うと、けっこうみんな気にかけてくれはって。」

E「出てましたよ。」

A「ね！Eさんずっと一緒に付いてくれてはってましたもんね。僕らずっと神社にいてたんですけど、これしたときになんかパッと雰囲気がものすごく明るくなったんで、面白かったです。」



F「白無垢着てですか？」

A「白無垢ではないですけどね。」

F「もう、普通の・・・？」

A「えーっとね、普通の着物と、旦那さんは紋付袴で。」

F「なんか昔って、赤い傘をさして、新郎新婦とご家族と一緒に歩いて、お披露目ですよ  
必要は。」

A「そうそうそう。友達の子らが普通の恰好やから、あれやからいうことで、ウチらの法被  
着て、周りのチャリンコ片づけたり写真撮るとかやってて。なかなかあれ面白いと思  
ってて。」

F「めっちゃいいですね！！」

D「あれ雰囲気良かったよ！」

A「しかも、神社自体は結婚式のお金だけやし、みんな手弁当でやってるんで、ああいうの  
地元で企画してやっていったら地域の活性化になるんじゃないかなあと。最近若い子ら  
も集まってきてるし。で、たまたま・・・、あ、これ写真、ちょっと見てください。」

C「まちセンのHPにも写真上がってましたよね。」

A「まちせんさんもずっと付いてましたね。これなかなか雰囲気いいですよね。」

F「僕以前ホテルで働いてたんですよ。まさに宴会の部門の社員やったんですけど、今まで  
披露宴って人生で二千件くらいやっきてるんですけど、年々ね、ジミ婚になっていって  
て、それまで親類縁者200人くらい全部呼んでやるみたいなのがどんどん小規模にな  
っていくっていうのが流行りで、そのためのプランを作っていくという、ウェディング  
プランナーができたのもそういう流れなんですけど、その流れでいったら地域に帰っ  
てくる、自分の地域でやるっていうのは海外挙式でやるのと真逆のように見えるけど、実  
はたぶんけっこう一緒に、自分だけの思い出に残る結婚式をやりたい、それが自分の  
生まれ育ったところやったらめっちゃいいですよ！今Yさんの言うてはる通り、町の、  
町おこしじゃないですけど、しかもこんな都心でね。」

A「なんかちょっとヒントがあるのかな。ほんで、たまたまウチの太鼓にいてる若手が、学  
生結婚とかで結婚式挙げてないやつばかりなんですよ。それを見てた奥さんが、私も  
やりたい！言うてるのを横で聞いてたんですけど。」

G「その方は此花区が大好きで住んでるんですか？」

A「さっきも言うたように埼玉から引っ越してきてるから、あれってなかなかすごいなって、わざわざ出て来た人らがここがいいからってここで結婚式を挙げるのって嬉しいじゃないですか。そら協力しますよっていうね。」

F「ほんまですね。」



D「反対に目立つわな。反対に言うと、大阪でもやってる町ないもん。」

F「町の練り歩きに協力してくれる地域があるっていうところが・・・」

A「いや、まあ、協力したというよりは、まあ勝手に練り歩いてるっていうところがね。」

D「一応許可求めてきたからね。」

A「そう。商店街の許可もとってるし、僕ら町会の話だけは通しとくねっていうことで一応

話はしといたんで。」

D「だけど、それをOKする町やいう、度量が大きい町やいうことを企画して、なんとかやったらけっこう目立つで。大阪でもこういうことしてくれはるんやって。」

F「その後申込とかっていうのは？」

A「いや、今のところ何もない、いや、神社に聞いてみないと分からないですけど。今のところそういう話はないみたいですけど。」

D「募集かけたらそういうの・・・」

A「ただ、神社は儲からないと言ってましたけどね。」

一同「(笑)」

A「もうちょっとお金取らなあかな言うてました。まあまあ神社の名前上がるからいいじゃないですか、みんな来てくれますよって。まあ、そういうのをヒントに地域を活性化って面白いのかなって思っただけなんですけど。」

抜粋終わり

結婚式は人生の大きな節目です。夫婦が社会への、そして親からの自立を表明する人生の一大イベントが、自分の生まれ育った地元で、それも地域の方に祝福されて行うことができるというのはとても幸せなことではないでしょうか。今回のケースは夫婦どちらも此花区出身ではないとのことでしたが、イベントを通じて地域も盛り上がることもできたというのはとても面白い取り組みだと思えます。

○また、参加者の方から6月10日の13時~17時にトルコ式チャイパーティーを行うと周知がありました。トルコ国営のチャイ屋から仕入れたチャイを使用するとのこと。トルコランプ風のキャンドルホルダー作りも行うそうです。

○7月11日の18時30分より舞洲アリーナのサブアリーナにて、此花区出身のプロレスラー、山本武寛さんが初の凱旋試合を行うそうです。みなさんぜひ応援に行きましょう。

以上、参加して下さった皆さん、ありがとうございました！